

も・の・か・も

環境まちづくりプラン



市民一人ひとりが一日に一つでも
ゴミを捨てる輪ができたらい

(資源・エネルギー・廃棄物分科会)
狩野 順子

第一回目の会議に参加後、かなり落ち込みました。何故か？意見が述べられなかった。自分の考えを持っていない。た、という現状に気が付いたからです。しかし、会員の皆さんは話しやすいように会議を進めてくださり、会場は和やかムード。気の利いた意見を言うよりも私なりの視点で感じたことを話し合いの中で、そして行動として活かせたらと思っています。

市民一人ひとりが一日に一つでもゴミを捨てる輪ができたなら：想像しただけで素敵なまちです。そのうちぎつとポイ捨てゼロですね！

みのかも環境市民会議に参加して 3つの分科会に参加している皆さんから、 それぞれ話を聞きました。

今年5月から、市民と行政のパートナーシップによる「みのかも環境市民会議」が文化の森で行われています。今までのような行政主導による環境政策ではなく、市民の参加・参画という新たな方針のもとに私たちの住む美濃加茂市のこれからの環境を考え、緑、生き物、水、自然そして市民も含めて、共に作り出し、共に分かちあえるような素晴らしい環境をこのまちに実現し、未来にも伝えていきたいと考えています。

共に分かちあえるような素晴らしい環境の実現へ



(水・緑・自然分科会)
長谷川 和弘



素晴らしい未来を子どもたちに 残せるよう取り組みたい



(生活環境・快適空間・まちづくり分科会)
渡辺 須美樹

今の地球を映画「タイタニック」に例えると、①出航したばかり・②冰山に衝突する手前・③冰山に衝突し、船が傾きかけている。さて、宇宙船「地球号」はどんな状況でしょうか？僕は③だと思っています。船が傾き3等船室は海水が入ってきています。だって温暖化でツバル諸島(注)はまさしく浸水しようとしています。それに世界各地で発生している異常気象と「異変」を数えればきりがありません。

しかし、1等船室(先進国)の人たちは、その事実を見ようとしません。そればかりか「まだまだ大丈夫」とか「この最新鋭の船が沈没するわけがない」と言うばかりです。自分たちに実害があるまで、知らないふりです。そもそもこういう状況になったのは、1等船室(先進国)にいる人たちの責任ではないのでしょうか？僕は、この環境市民会議に参加している人々と力と気持ちを合わせ、素晴らしい未来を子どもたちに残せるよう取り組んで行きたいと思っています。

(注) ツバル諸島は南太平洋上のサンゴ礁の国、最も高いところで海拔4メートル。高潮になると、海岸部は海水により、浸水するようになります。